

あらかき通信



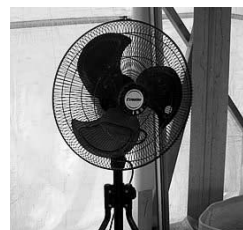
(株)アラキ工務店 編集・発行 村上 幸男

〒615-0906 京都市右京区梅津高畝町 52-2

Tel 075-882-8668 Fax 075-872-0223

<http://www.kyoto.zaq.jp/araki/info@kyoto-kozai.com>

前回の発行から、もう半年経ちました みなさんお元気でしょうか？



前回から、建築業界を取り巻く環境は大きく変わりました。

住宅エコポイント特需で断熱材が逼迫し、工事の進行に支障がでたり、東日本大震災の影響で、いろんな設備機器の入荷が間に合わなくなったりしていました。

8月になり、やっと落ち着いてきましたが、異常な暑さが続き、現場は大変です。熱中症で倒れる人も出てしまいました。建築現場ではクーラーがかけられないので、いつも扇風機を廻しています。エコを先取りしています。(当たり前かな?)

一方、町家を取り巻く環境も少しずつ変わってきています。

5月30日、「京町家作事組の活動と成果」が建築学会賞を受賞し、弊社会長が参列してきました。近代化を推進してきた学会が、町家を守り続ける活動を評価する方向に舵を切り直すことになったのです。

また、京都信用金庫さんから、京町家専用住宅ローン「のこそう京町家」が発売されました。一昨年に南都銀行さんから発売された「京町家スーパー住宅ローン」に次ぐ商品です。既存不適格建物といわれ、なかなかローンが付かなかった町家にも光が当たるようになりありがたい話だと思います。

さてさて、弊社でもいろいろな事がありました！

【出版物】

「最高の家をつくるアイデアとヒント」(エクスナレッジ4月刊)に7ページほど寄稿しました。工務店21社で集まって手分けして作った労作です。

「町家棟梁」(学芸出版8月刊)は弊社会長をまるまる1冊取り上げています。工芸繊維大学の矢ヶ崎先生のご指導のもと素敵な書籍ができました。是非、みなさんお買い求めください。

【マスコミ】

4/21 BS朝日「百年名家」黒川くんと小阪さんの作業風景を撮影いただきました。

6/2 テレビ大阪「和風総本家」中村塗装さんが弊社の法被を来て登場。カッコよかったです。

有名な番組なのでご覧になられた人もおられるかも・・・

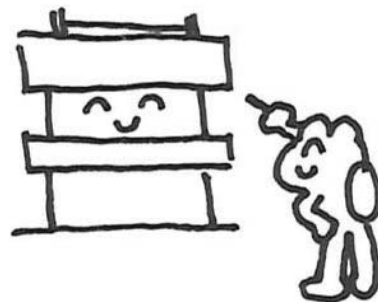


【NPO】

昨年は「古家改修実践講座」と題し、たくさんの市民の方に左官や塗装などの体験をしていただきました。

今年は少し趣向を変え、「空き家見守り隊」事業を行ないます。

ほったらかし状態の古家を定期的に点検して老朽化を防ぐ取り組みです。京都府から補助金を頂くことになったので、頑張らなければなりません(何の準備もしていないので少し大変です・・・)。



職人さんたちはみな元気になっています。

何かとバタバタしていて、ご迷惑もかけますが、網戸の張替えや棚の取り付けなど簡単な工事も気軽にお問い合わせいただければ嬉しいです。

いつでもお電話お待ちしております。

荒木 勇

お施主さんに一言！

今回は米沢和也君です



少し昔の若い写真です

お世話になっております。

最近昼食を外食でなく弁当に切り替えるようになった米沢です(笑)

アラキ工務店に入社して8年が経過しましたが、これまで相当な軒数の工事をさせて頂きました。住宅の新築・改修工事はもとより最近では四脚門の移設や、お茶室の新築工事など、昔の私では手に負えなかったであろう複雑な工事にも少しずつ対応できるようになってきました。

8年といいますが、本当に早かったです。恐らく入社当時の私に工事をご依頼頂きましたお施主様は、もうそんなに経つのかと驚きのことかと思えます。その節は本当にお世話になりありがとうございました。

さて、そこで8年経って自分はどれくらい成長しているのでしょうか？ 現場監督としてお客様のために役に立っているのか、しっかり工事の計画が立てられているのか、反省する事しきりです。すると、ふと昔の記憶が甦ってきました。確か入社して1年経った頃にもアラキ通信に掲載させて頂いたことがあるのです！

当時の反省点には、「打合せ時の質問に即答できなかった」「適切なアドバイスが出来ていなかった」などが挙げられておりました。もちろん、どちらも大切な事です。でも、最近では少し違う考えが芽生えてきました。

すぐに答えるだけでなく、調べた内容を自分の知識として吸収することも大切ではないかということです！多少時間がかかっても確実に調べるといことがお施主様のためであり、またそれが自分のためになるというように、違う角度から物事を考えられるようになりました。

これが現場監督8年目にして得た収穫です。また数年後に更なる成長をご期待頂ければ幸いです(笑)。

どうぞ今後共宜しくお願い致します。

それでは暑い日が続きますが、皆様くれぐれもお体ご自愛ください。

現場監督 米沢 和也



住まいについていろいろな話？ 第12回

町家の大規模な修繕の仕事をしました。



修繕前



修繕後



大正から、昭和にたてられた 中京区にある床面積30坪ぐらいの町家です。

道路ぎりぎりまで、1階をせり出ししたものを、へこめました。宿泊施設に改修しましたので 玄関の前には、点字ブロックが埋めてあります。また、ところどころに、非常照明と、火災報知器があり、消火器や、避難梯子まで、つけました。

☆7月24日に、地デジに変わりました。

電気屋さん7月は、大忙しでした。一時期アンテナが、入手しにくかったそうです。結局今は、比叡山のほうから、地デジ電波が発信されているので、京都テレビが、映ったら地デジがみられるそうです。

☆火災警報機の既存住宅への義務付け

23年5月31日までに、設置をしなければなりませんでしたが、取り付けは、済んでいますか？ こちらも、その前ぐらいで、弊社の電気屋さんにも走ってもらったところが、いくつかあります。

☆家電エコポイントも終わったにもかかわらず、気温が高いせいか、エアコンが少し割高で、品薄感があります。これも電気屋さんです。

☆住宅エコポイントも7月の末で、終了しました。

7月の末までに工事を着手した建物までが、エコポイント対象工事になります。引き換えは、来年までできるそうですが、お金が無くなると打ち切りになる場合もありますのでお早い目に、申請しましょう。

☆今年の3月11日に震災がありました。

それに伴い それまでも、少し入りにくかった合板・断熱材は、まったく入手できなくなっていました。最近、ある程度入手できるようになってきました。また、UBをはじめ メーカー品も部分的に入手できない商品が発生し、決まっていたメーカー品を他メーカーの商品に替えてもらったりしていましたが、大分落ち着いて入るようになってきました。

そんなところで、震災の影響が減ってきたように感じます。

震災におきまして亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様、その家族の方々に心よりお見舞い申し上げます。

現場監督 荒木 智

2011 年度の新入生を紹介します

三谷 拓也 君です



小さい頃から父が大工として働いているのを見て、私も大きくなったら父と同じ仕事をしたいと思っていました。早く一人前になれるように日々努力をしていきたいです。

趣味は音楽鑑賞と野球です。高校時代は島根県の高校に野球留学してました！

専門業者の懇親会で出雲大社の

工事見学と参拝に行ってきました。



左手奥が本殿の改修現場です。

この中に入ります、一般の人は入れません。ツテを頼って見学をお願いをしました、S建設さん（業界大手）有難うございました。紹介いただいた梶山さん（NOM 設計）ありがとうございました。仮設内は神域内なので写真撮影は厳禁です。大社造りといわれる構造体を目の前で十分見させていただき、桧皮葺の仕事、大工の補修工事の仕事もみせていただきました。職人の皆様方、ありがとうございました。勿論参拝も行いました。

神楽殿です。

この大社の前に来ると、神話の世界に住んでいる人々が、生き生きと動き出すような気がします。大国主命や天照大神といった神々の名前が、まるで旧い友人のように聞こえます。サテ、これで初日の第一番目の目的は完了しました。第二の目的の懇親会（なほらひ）に力を注ぎます。何せ私は幹事ですから、皆さんに十二分に懇親（なほらひ）していただかないと、と思っています。エ〜トお姉さんの数は4人でよかったかな、生ビールはホントにあるんでしょうね。ナドナド心配事はつきません。ハハハ - - - 宴会じゃないですよ、「なほらひ」です。 村上



編集後記

今回は忙しくて、事務所の皆さんにパートごとに手伝ってもらいました。それぞれが自分のスタイルで書いていますので、これはこれで面白いと思います、次回はしっかりと頑張ります。

村上